

最新ニュース 日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会にて 当センターの医師が発表を行いました

5月31日（金）～6月1日（土）出島メッセ長崎にて、「第99回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会」が開催され、当センター医師が発表を行いました。

① 小児科 医長 釣永 雄希

「潜在性結核感染症、小児、成人例の治療薬の現状」

2021年10月から潜在性結核感染症の化学療法がイソニアジド、リファンピシンの単剤から2剤の併用療法が短期間で治療可能になりました。

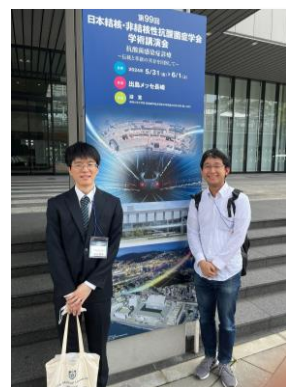
今回成人と小児を比較し、現状を調査しました。小児例においても併用療法をもう少し積極的に用いてもよいと考えられました。

② 感染症内科 医員 前田 恭兵

「閉経後結核性子宮留膿腫の三例の報告」

閉経後結核性子宮留膿腫の3例を報告しました。当センター20年間で3例と稀な疾患です。いずれの症例も抗結核薬内服にて経過良好であり、子宮留膿腫の鑑別として結核菌は重要と言えます。

当センターでは、研究、学会発表、論文報告を積極的に行っており、今後とも最新の知見を発信し続けます。



最新ニュース 府民公開講座「羽曳野からだ塾」を開催しました

6月1日（土）「お口から！健康増進」をテーマに、今年度第1回目の府民公開講座「羽曳野からだ塾」を開催し、60名の方にご参加いただきました。

講座内容は、「お口の環境や機能が全身に与える影響について」「歯磨きのコツやしっかり食べるための口の体操」「噛むことの大切さやよく噛むための調理ポイント、よく噛むレシピ」について、医師、歯科衛生士、管理栄養士のそれぞれが、専門家の立場から丁寧に分かりやすくお話しさせていただきました。

参加者の皆さんはとても熱心で質問も飛び交い、「改めて、お口のケアが大切なことが分かった」「実演があって理解しやすく、勉強になった」等の感想が多く、とても好評でした。

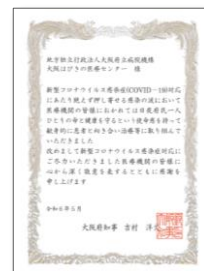


最新ニュース 大阪府知事より「感謝メッセージ」をいただきました

当センターは、新型コロナウイルス感染症対応の最前線で医療の提供に貢献した医療機関として、大阪府知事より感謝メッセージをいただきました。

昼夜を問わず、府民の命を守る活動を行ってきたことをご評価いただき、たいへん光栄に存じるとともに、身の引き締まる思いがいたします。

当センターは、これからも府民の皆さんの生命と健康を守るために邁進してまいります。



知ったク情報

聞こえにくいなら、相談してみない？

人の話が良く聞こえない、テレビの音が大きいと言われることはありませんか？ご自身で気づかなくても、ご家族に指摘されて気づくケースもあるかと思います。難聴は放っておくと、認知症のリスクを高めると言われています。聞こえにくいと思ったら、まず耳の病気がないかどうか耳鼻咽喉科で診察することが大切です。

その上で、補聴器が必要となれば、耳鼻咽喉科補聴器相談医から紹介された補聴器専門店で自分に合った補聴器を作りましょう。補聴器は高額ですが、補聴器相談医からの紹介状があれば、医療費控除が受けられる場合があります。聞こえにくいと思ったら、かかりつけ医に相談してみましょう。

当センターには補聴器相談医が在籍しています。詳しくは右のQRコードから「補聴器を購入する前に」のページをご覧ください。



はびきのトピックス ①

「外科病棟」てどんなところ？

当センターで手術を受けられる方は、4階「たちばな」または「すみれ」いずれかの外科病棟に入院していただきます。自然豊かな立地にある当センターの病室の窓からは、緑や広い空を一望でき、とても明るいデイルームで過ごすこともできます。

手術を受けられた後は麻酔が効いているので、ベッドで病室に帰ってきます。手術にもよりますが、手術翌日から歩く練習が始まります。最初は看護師が必ず付き添います。理学療法士によるリハビリを受けることもあれば、病棟で検査や処置を行うこともあります。

入院された患者さんには安心して手術を受けていただけるよう、スタッフ一同、心がけております。



病室



デイルーム

ホームページ

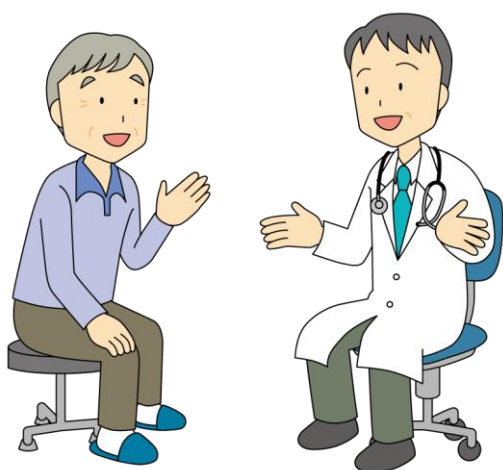


はびきの医療コラム ①

「膀胱がん」「前立腺がん」は、早期発見で適切な治療を

私が診療を続けている中で気づいたことがあります。それは、進行性の膀胱がんや前立腺がんが非常に多いということです。膀胱がんの主要な危険因子は喫煙であり、また職場などでナフチルアミンやベンジンなどの化学物質に曝されることで膀胱がんを発生するリスクが高まることが分かっています。また前立腺がんの罹患率は日本人男性で増加しており、2017年以降、男性で最も多いがんになっています。

初診時において膀胱がんが筋層浸潤しているため膀胱全摘をしなければならない例や、前立腺がんがリンパ節や骨に転移していて、前立腺全摘が適応にすらならない例が散見されます。



いずれのがんも早期に発見し適切な治療を行うことで寿命を大幅に伸ばすことが可能だと考えます。早期発見のためには、患者および医療機関双方の意識が非常に大事になってきます。

膀胱がんの場合は、肉眼的血尿、尿潜血や顕微鏡的血尿などであり、前立腺がんの場合は排尿障害、PSA（前立腺特異抗原）高値などが症状としてみられます。このような症状や検査結果を認めた場合は、専門機関を受診するように心からお願いしたいと考えています。

泌尿器科 主任部長 福井 辰成

はびきの医療コラム ②

運動不足が招く「サルコペニア」

サルコペニアをご存じですか。サルコペニアは加齢に伴う筋肉量の減少、筋力の低下で定義される病態であり、その結果として身体機能の低下を伴うものとされています。

筋力の低下に伴って立ち上がったり、歩いたりすることが徐々に難しくなり、やがて日常生活に支障をきたすようになります。

特に糖尿病などの代謝疾患とサルコペニアは、密接に関連しています。サルコペニアは糖尿病悪化の要因となり、一方、糖尿病はサルコペニアを悪化させることが分かっています。

サルコペニアの予防には、日常的な筋肉トレーニングが重要とされています。ただ運動を日常的に行っていくことはなかなか難しいものです。そこで私がお勧めするのは、座ってじっとしている時間を減らすことです。こまめに体を動かすことは、サルコペニアの予防に効果があります。ぜひ試してみてくださいはいかがでしょうか。

サルコペニアの主な症状

転びやすい
つまずきやすい

歩くスピードが遅い

筋肉の質や量が低下した状態

ペットボトルの蓋が空けづらい

疲れやすい

糖尿病・内分泌内科 主任部長 樫根 晋

はびきのトピックス ②

産後の「お祝い膳」をリニューアルします

当センターでは、産後の身体や心を少しでも癒していただけるよう、産後に「お祝い膳」を提供しております。7月中旬以降、お祝い膳のメニューが新しくなります。

ぜひ、ご賞味ください。

【新メニュー】

- ・ビーフシチューのパイ包み焼き
- ・かれいのオープン焼き 自家製ケッカソース
- ・カリカリベーコンとチーズのサラダ
- ・ライス
- ・イチゴケーキ/フルーツ盛り合わせ



第1子、第2子...と当センターで出産される方にも「お祝い膳」を楽しんでいただけるよう、定期的にメニューを変更しております。よりおいしく、より満足していただけるよう、今回も工夫を重ねました。

今後も、質の高い医療サービスの提供や患者さんの療養環境の充実に取り組んでまいります。

イベント情報

府民公開講座「羽曳野からだ塾」参加募集のお知らせ



府民の皆さんの健康増進を目的に、9月21日(土)当センターにて、府民公開講座「羽曳野

からだ塾」を開催します。テーマは「あなたの腎臓を守る！後悔しないための慢性腎臓病対策」と題し、病状が悪化しないと自覚症状が現れにくい「慢性腎臓病」について、お話しいたします。ぜひご参加ください。

■ 講座の内容

- ①「慢性腎臓病と、日常生活での心がけ」
腎臓内科 主任部長 飯尾 麗
- ②「毎日の積み重ねから！腎臓に優しい食事」
栄養管理室 管理栄養士 花井 美夢
- ③「くすりはリスク!? 慢性腎臓病で注意すべきお薬」
薬局 腎臓病薬物療法認定薬剤師 的場 美香

■ 申し込み方法

9月20日(金)までに、電話または右のQRコードより「参加申し込みフォーム」にアクセスのうえ、お申し込みください。



■ 申し込み・問い合わせ先

大阪はびきの医療センター 総務グループ
電話(代) 072-957-2121 (平日9:30~17:00)

テーマ 「あなたの腎臓を守る！

後悔しないための慢性腎臓病対策」

日時 2024年9月21日(土) 14:00~16:00

会場 大阪はびきの医療センター3階 講堂
(大阪府羽曳野市はびきの3-7-1)

定員 先着150名 (定員になり次第、締め切ります)

費用 無料

- * 駐車場無料(駐車券を会場までお持ちください)
- * 手話通訳が必要な方は、9月6日(金)までにお申し込みのうえ、その旨お申し出ください。

ホームページ

令和6年7月 第262号

編集・発行 大阪はびきの医療センター

